

平成9年度 卒業生・修了生諸君の進路報告

10年にわたる老舗が自主廃業に追い込まれる構造不況の中で始まった学部生および大学院生の就職活動は、企業側の就職協定がなくなった今では、従来とはおもしろいものがあります。一方、

10年にわたる老舗が自主廃業に追い込まれる構造不況の中で始まった学部生および大学院生の就職活動は、企業側の就職協定がなくなった今では、従来とはおもしろいものがあります。一方、

学 部	氏 名	就 職 先 / 進 学
青 山	由 美	(財)日本食品分析センター
油 谷	健	三重大学大学院
天 野	千 夏	奈良先端科学技術大学院大学
水 野	千 夏	京都大学大学院
江 藤	潤	養命酒製造(株)
津 野	雅	三重大学大学院
川 浦	知 子	伊藤ハム(株)
北 川	宏 子	三重大学大学院
紀 平	智 彦	太陽化学(株)
黒 澤	仁 努	名古屋大学大学院
源 馬	努	三重大学大学院
近 藤	須 麻子	(合資)西村商店
佐 藤	広 一	名古屋大学大学院
垣 見	泰 史	奈良先端科学技術大学院大学
新 保	圭 子	トーマテクノロジ(株)
杉 原	創 紀	未来工業(株)
祖父 江	厚 郎	(株)アトムボーイ
田 口	幸 幸	(株)エステム
武 川	瑞 城	京都大学大学院
田 邊	幸 織	大洋薬品(株)
藤 堂	文 子	京都大学大学院
徳 丸	真 弓	井村屋製菓(株)
中 西	典 子	和光純薬工業(株)
目 和	和 広	三重大学大学院
川 裕	美 香	(財)日本食品分析センター
室 美	香 雄	東京大学大学院
福 島	民 雄	三重大学大学院
藤 田	浩 明	三重大学大学院
古 市	浩 也	名古屋大学大学院
松 岡	美 和	菱山製薬(株)
水 谷	友 美	三重大学大学院
森 田	恭 徳	三重大学大学院
山 内	千 枝	(株)紀文フードケミファ
山 中	咲 咲	(株)赤塚植物園
廣 地	徹 次	三重大学大学院
朝 比 奈	亮 亮	三重大学大学院
大 学 院		
石 井	泰 成	ミヤマ(株)
逢 坂	英 和	ヤマモリ(株)
勝 永	智 也	小野薬品工業(株)
加 藤	俊 次	日本食品化工(株)
北 岡	幸 恵	就職予定
黒 野	昌 洋	太陽化学(株)
香 田	淳 恵	三重大学大学院 (後期課程)
後 藤	和 歌	イオン製薬(株)
斎 藤	和 歌	御木本製薬(株)
下 山	敦 央	(株)三菱化学ピーシーエル
鈴木	恒 一	三重大学大学院 (後期課程)
竹 内	麻 一	アサヒビール(株)
藤 本	佳 則	日本食品化工(株)
前 野	恵 美	総合研究大学院大学(岡崎国立共同研究機構生理学研究所)
松 本	明 子	愛知県警
ALI MURSHEDA KHATUN		三重大学大学院 (後期課程)
DWIJERA BUVYERNIE		三重大学大学院 (後期課程)
加 藤	宗 春	菱山製薬(株)
鈴木	亮 子	総合研究大学院大学(岡崎国立共同研究機構基礎生物学研究所)
尾 関	宗 孝	就職予定
鈴木	勝 久	農林水産省 農業環境技術研究所
孫 嘉 琳		日本たばこ産業(株)

生物資源学部 ホームページの紹介



最近、インターネットという言葉を聞かない日はなく、そのインターネットを利用するための道具であるパーソナルコンピュータ、すなわちパソコンの普及はさまざまのものがあま

また、書店などに参りますとパソコン関連の雑誌が多数置かれていて光景をよく見かけます。農芸化学コースへのパソコンの導入はもう新しいものではなく、20年ほど前から論文作成や測定機器のデータ処理装置として我々のそばにありました。もちろん現在でもそのような使用方はしていますが、一九九

四年にインターネットが三重大学に導入されてからその姿は一変しました。学内全域にLAN(ローカルエリアネットワーク)が張り巡らされ、各学部がサーバと呼ばれるインターネットの中心をなすコンピュータが設置されました。生物資源学部ではこのサーバを三翠にちなんで「sasumi」と名付け、学部の全教

官がそのsasumiに電子メールアドレスを登録されました。当初はとまどいもあり、利用者もそれほど多くなかったのですが、非常に便利なものだと気づくと瞬く間に普及してしまいました。しばらくすると学生も自由にインターネットにアクセスできるようになり、学部一年生については情報科学基礎という学

部共通のパソコンの授業が始まりました。以前のパソコン教育と異なるのは、インターネット関連の教育が中心になりつつあることです。このようにインターネットは大学の教育と研究に欠くことのできない存在となりました。また、インターネット普及の二つの大きな要因としてホームページと呼ばれるものがあります。現在、大学などの教育機関、国や県などの行政機関、その他多くの企業やタレント、個人に至るまでホームページを持つようになってま

したが、特に企業等のホームページについては会社概要や資料請求や本コース学生の就職活動などに大いに役立っており、どこでも生物資源学部におきましても一九九五年にボランティアグループの手によって学部のホームページが作成されました。そのアドレス(URL)は、http://www.bio.mie-u.ac.jpです。このフロントページに「学部の教育コース事務

部共通のパソコンの授業が始まりました。以前のパソコン教育と異なるのは、インターネット関連の教育が中心になりつつあることです。このようにインターネットは大学の教育と研究に欠くことのできない存在となりました。また、インターネット普及の二つの大きな要因としてホームページと呼ばれるものがあります。現在、大学などの教育機関、国や県などの行政機関、その他多くの企業やタレント、個人に至るまでホームページを持つようになってま

卒業49年も ますます意気盛ん!!

専1 クラス会

選ばれて、共に盛り上げる旅路。私達の戦後人生の第一歩は、昭和廿一年三月競争率二十六倍の難関を突破し、新設の農産製造学科に入学を許可された事から始まりました。そして昭和廿四年三月、先輩の居ない第一回生として、三翠の学園を巣立って行きました。

あれから四十九年目、毎年行われるクラス会を今回は、平成十年三月十五日、十六日、津市半田、磨洞温泉涼風荘で行いました。これは戦時中磨洞を採取する為に掘った洞窟を利用して作った温泉旅館です。

現在連絡可能な製造科O・Bは三十三名、集いO・Bは二十三名、出席率六十四%で、この種のクラス会としては大変高率と、幹事一同喜ぶ次第です。顧みれば、三翠の丘に降りし五十二年前入試の作文は、友情という題でした。青春時代共に学び、共に遊んだ、この絆は何ものにも替え難いものです。この絆を大切にしながら、出来る文



本根若林 杉浦 北岡 酒井 佐野 山田 中尾 鳴林 今西豊田 渡辺西村 藤田 庄山 別府 松田 松村 笠井

平成10年3月15日、卒業後49年のクラス会(於 津市磨洞温泉涼風荘)